

第15回 高知県森林整備公社経営検討委員会の概要について

開催日時：平成23年12月6日（火）14時00分～14時40分

開催場所：高知共済会館 3階 中会議室

参加者：（委員）

根小田渡委員（委員長）、金子努委員、高村禎二委員、中越利茂委員、
橋本誠委員、森永洋司委員

（高知県）

田村林業振興・環境部長、大野林業振興・環境副部長、國吉森づくり推進課長、
渡辺企画監（分収林改革担当）、稲垣総務福利課長

2 議事

（1）「改革プラン」案の検討について

○事務局より、資料1（分収割合変更等に関する検討資料）を説明。

○事務局より、資料2（高知県森林整備公社の経営改革プラン(案)）を説明。

<主な質疑・意見>

（委員）

今後、伐期を迎える分収林が増え、主伐をした後の対策が課題になってくると思う。主伐後は再造林すべきであるが、結構コストがかかる。高知県の林業としての課題であるということプランで一言触れたらどうか。

プラン案のP38の「今後の方策と担うべきあり方」として、理事長、理事の選出方法、経営責任の明確化とあるが、理事長、あるいは理事の中に、今、国が検討しているフォレスターや施業プランナーに相当するような人を迎え入れてほしい。分収林をどのように施業していくのか、分収林だけではなく、山全体を見ながら団地化する計画を立てることができれば、搬出コストが下がり、結果として公社の利益に繋がり、山主さんにも利益を還元できるため、そういう人材を理事会の中に是非入れてほしい。

（事務局）

再造林問題は県としても重大な課題ということで重く受け止めている。これは、公社営林だけではなく、民有林も国有林も含めて全国的な問題でもある。今後、主伐が増え、平成25年度の銘建工業の進出も踏まえ、一定再造林対策を検討している。

理事会の件は、プランに書いていただいている理事会の活性化ということと併せて、今後、公社の山をもう一度ランク分けの精査をしたうえで、森林法の改正に基づき、山全体を見て効率的な山の管理が出来る方法を検討しながら森林経営計画を作っていくことになり、さらに、民間の事業体に管理委託をすることで、委員からご意見いただいた方向でやっていけると考えている。

再造林の話は、プランの中に加筆する方向で、プラン策定委員さんに相談させていただきたい。

12月の県議会でプラン案を説明し、議会の意見を踏まえて、来年もう一度検討委員会を開催し、3月に最終報告というスケジュールを考えている。